

# 一橋大学大学院言語社会研究科プロジェクト

「中国現代文学研究ネットワークの構築」主催

2008 HITOTSUBASHI INVITED FELLOW PROGRAM 助成

## 日中国際シンポジウム

# いま魯迅を読む

魯迅解读的当代意义

一橋大学大学院言語社会研究科プロジェクト「中国現代文学研究ネットワークの構築」の2008年度メインイベントとして、国際シンポジウムを開催いたします。“中国近代文学の父”といった位置づけとは別に、今日的な問題群に対しても常に示唆を与え続ける存在としての魯迅。「いま」魯迅はどのように読まれているのか／読むことができるのか。国内外からお招きする気鋭の中国現代文学研究者が、様々な切り口を示します。



●日時 2008年11月8日(土)

10:00～18:00(9:30開場)

●場所 一橋大学東キャンパス国際研究館4階大教室

東京都国立市中2-1/JR中央線国立駅南口駅下車徒歩7分

### ●報告者と報告題目

- |              |                               |
|--------------|-------------------------------|
| 郜元宝(上海・復旦大学) | “魯迅風”与“知堂体”                   |
| 張業松(上海・復旦大学) | 魯迅《南腔北调集》与周作人《苦茶随笔》的对照阅读      |
| 薛毅(上海師範大学)   | 魯迅与当代思潮                       |
| 尾崎文昭(東京大学)   | いま魯迅を語るときの前提条件                |
| 代田智明(東京大学)   | 『呐喊』自序」および「崩れ落ちる線の震え」再読～父性と母性 |
| 長堀祐造(慶應義塾大学) | 魯迅と富田事件～魯迅の毛沢東・共産党観           |
| 阿部範之(同志社大学)  | 虚構の中の魯迅像～日中の劇映画及び映画脚本を手がかりに   |
| 松永正義(一橋大学)   | 台湾における魯迅                      |

●使用言語 中国語(適宜通訳あり)

●参加に際して事前の申し込みなどは必要ありません。どなたでもご来聴いただけます。

●お問い合わせ 坂井洋史(一橋大学言語社会研究科教授) [Banjingyangshi@nifty.com](mailto:Banjingyangshi@nifty.com)